

ご あ い さ つ

醍醐地区社会福祉協議会 会長 旭 幸一

日頃から、当協議会にご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。

昨年度は、元日の能登半島地震に始まり、災害が多く発生しましたが、今年度も4月・5月と連日の雨に見舞われ、また、6月以降は高温少雨で果樹や野菜等に大きな影響がありました。さらに、12月に発生した「北海道・三陸沖地震」では寒河江市でも震度3を記録し、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が運用開始して初めて発表される等、心配な日々を過ごされたことと思います。

一方で、「今年の漢字」に選ばれた「熊」にも驚かせられた年でした。醍醐地区内でも各所で複数回の目撃情報があり、小学校の登下校を保護者が対応する日も数日ありました。

天候や熊の猛威など周囲を取り巻く環境が大きく変化していますが、地区内の皆さんと共により良い生活環境づくりに努めていきたいと思っております。

さて、今年度当協議会では、新たに「ひとり暮らし高齢者の集い」を実施しました。参加いただいた皆さんから好評を得ましたので、引き続き実施していきたいと考えております。

当協議会の活動はもちろんのこと、ご近所同士の見守り等、お互いが助け合って日々を暮らせるような、安心できる地区になりますよう引き続きご協力をお願いいたします。

◇ ◇ ◇ 今年度の事業実施報告 ◇ ◇ ◇

令和7年度に実施した事業について下記のとおり報告します。

◎三者懇談会及び研修会



＜7月12日（土）慈恩寺活性化センター＞
各町会長、地域福祉推進員及び民生委員児童委員による三者懇談会を31名の出席を得て開催しました。市社協市民福祉課新田ゆい氏から「地域見守りネットワーク事業について」、地域包括支援センター古瀬夢菜氏から「地域包括支援センターと地域福祉推進員の連携について」のお話を伺い、地域内における高齢者の見守り活動の重要性と、地域包括支援センターとの連携により日常生活が改善した事例等が紹介されました。

その後、町内会毎にひとり暮らし高齢者等の状況について話し合い、引き続き地域住民の見守り活動の充実に努めることを確認しました。

◎地区社協委員研修会

<10月17日(金)>



地区社協委員17名が出席して、天童市にある「ふれあい天童」を訪問しました。「住民参加と助け合いの精神に基づいて、生きがいのある長寿社会を創設し、福祉の増進に寄与する」活動についてお話を伺いました。「生活支援サービス」、「外出支援サービス」、「洗濯サービス」等の活動を行い、集い・くつろぐ「の〜んびり茶の間」では、自分がいられる場所、様々なメニューを工夫した昼食をとりながらのコミュニケーションの場所となっているとのことでした。

その後、「天童ワイン」を見学し、昼食を楽しみ、「JAやまがたおいしさ直売所落合店」で買い物をして帰路につきました。



◎ひとり暮らし高齢者の集い

<10月31日(金)>



ひとり暮らし高齢者の孤独感を解消し、明るく生活する一助になることを目的に、秋の紅葉を觀賞しながら親睦を図るため、今年度初めて開催しました。

月山街道の紅葉を見て、鶴岡で昼食をいただき、湯の浜で磯の香りを満喫してから47号線沿いの紅葉や白糸の滝を見て充実した一日となりました。

<参加者の感想を一言>

- ・畑仕事と医者通いの毎日だが、皆で一緒に遠出ができてよかった
- ・久しぶりに海を見て潮の香りを楽しむことができてよかった
- ・昼食が美味しかった
- ・紅葉がきれいだった。天気がよくないのがちょっと残念だった



◎健康づくり講演会

< 12月5日（金）箕輪公民館 >



今年度の「健康づくり講演会」は、30名が参加して、寒河江市健康増進課介護保険係村山眞理子氏から「元気に生き生きと自分らしく生活するために」と題して講演をしていただきました。「短期集中元気サービス」では、3か月間でフレイル（加齢に伴う心身の衰え、社会的なつながりの弱体化）状態からの改善を目指した運動等について、また、寒河江市における高齢化率等についても話されました。続いて、地域包括支援センターの古瀬夢菜氏から「地域包括

支援センター」の業務内容等について説明があり、高齢者が日常生活において不安があれば、気軽に相談してくださいとの話がありました。

また、4月から慈恩寺駐在所に就任された三戸部裕斗氏から、「防犯・防災」についてのお話を伺いました。特殊詐欺の対策として、国際電話からの着信を拒否する登録等についての説明がありました。

講演会終了後は、「新そばを味わう会」を開催し、皆さんが美味しくいただくことができました。



◎その他の活動

○醍醐小学校児童全員にノートを贈呈



醍醐小学校が創立151周年記念式典をお祝いした後日、10月28日に当協議会の旭会長から、全校児童36名に学習ノートを贈呈しました。

今後の学習に役立てていただければ幸いです。

○歳末たすけあい運動配分委員会を開催

11月18日(火)、日和田公民館で「醍醐地区歳末たすけあい運動配分委員会」を開催しました。地区内十数名の方々に、民生委員児童委員から歳末激励金をお渡しすることができました。

☆醍醐地区青パト隊

茂木 藤雄

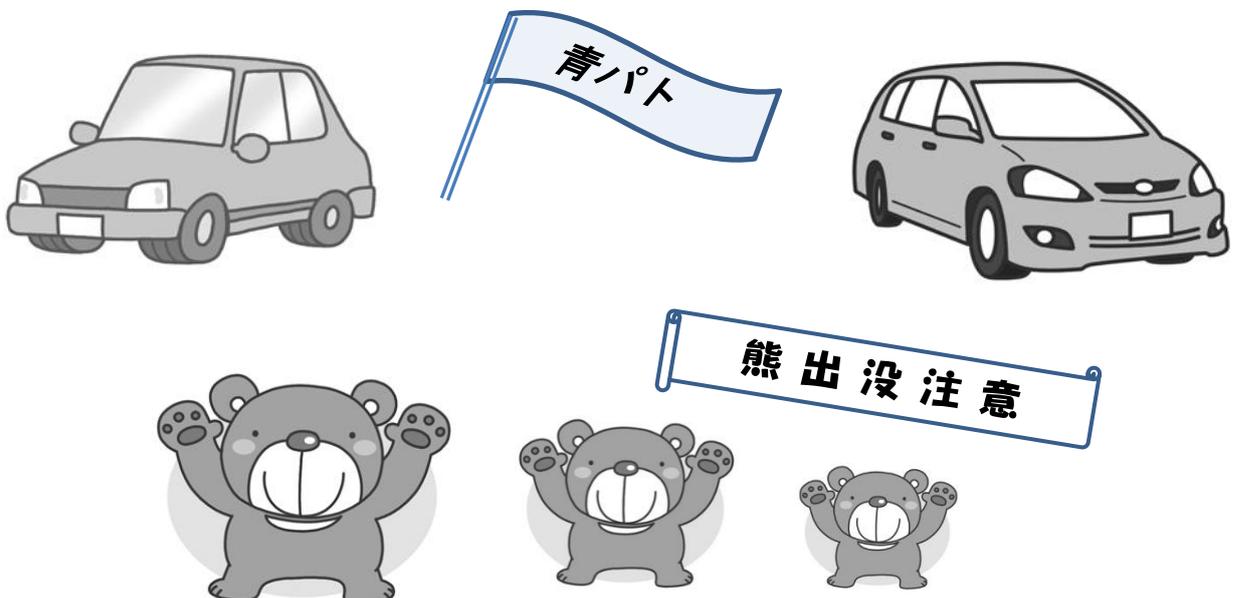


沖田健一さんと青パト隊でコンビを組んで7月で早満7年になります。集団登校時は毎朝7時15分に自宅を出発し、先ずは箕輪に直行、小・中学生等に声をかけながら日和田・慈恩寺の順路で回っています。登校時には15名位の町会長・保護者も見守りをしてくれ、子供たちも心強く安全安心に登校しています。

青パトで特に大事な任務は防犯活動ですが、通学路の安全確保、特に冬期の雪をかぶった雑木・竹林の確認等が求められます。昨年度はまさかの熊の出没で、地域に警鐘を促す日も多々

ありました。防犯のみならず防獣の見回り??をも心がけております。

防犯協寒河江支部は、昨年度東北管内で唯一「内閣総理大臣賞」を受賞、これまで以上に地域を守るを合言葉に防犯活動に邁進する事を誓い合ったところです。市内各地で青パト隊員が増えているのが現状、醍醐地区も常時募集中なので貴方も是非青パト隊の仲間になりませんか？



だいがっ子クラブの活動を紹介します！！

学童保育「だいがっ子クラブ」支援員 那須 郁美

日頃より、地域の皆様には、だいがっ子クラブの活動にご理解とご協力をいただきまして、感謝申し上げます。今年度、1年生から5年生までの20名で過ごしています。毎日、元気いっぱいの子ども達です。



更生保護女性部の方のご指導のもと、じゃがいもの収穫を行いました。収穫したじゃがいもは、更生保護女性部の方が煮っころがしを作ってくださいました。



月山剣玉遊戯倶楽部の奥山さんと、けん玉教室を行いました。けん玉の持ち方や、動かし方、技を決めるポイントなどを学びました。



七右衛門窯の方と陶芸教室を行いました。出来上がった作品は、11月に行われた、醍醐・白岩地区文化祭に出展しました。



更生保護女性部の方と、ハスの工作をしました。色とりどりの布で綿を包み、とても華やかな工作が出来上がりました。



★地区民の皆様へ

慈恩寺駐在所 三戸部 裕斗

寒河江警察署慈恩寺駐在所の水戸部です。

令和7年の4月から慈恩寺駐在所で勤務しています。

駐在所での勤務は初めてでしたが、住民の皆様と密接に関わっていく中で、パトロール等の要望や日頃の活動に対する感謝の声が多く届き、住民の要望に応えるという警察活動の原点に立ち返る良いきっかけになりました。

これからも住民の皆様に寄り添いながら管内の治安維持に努めていく所存ですので警察活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、間もなく令和7年度も終わり、新しい年度を迎えようとしていますが、昨年を振り返りますと寒河江警察署管内でも熊の出没や交通死亡事故、侵入窃盗被害や特殊詐欺による被害など皆様の日常生活を脅かす事案が多数発生しました。

中でも、特殊詐欺による被害は深刻で件数、被害額ともに増加傾向にあります。

そこで皆様には特に以下の2点に注意していただければと思います。

1つ目は国際電話利用休止申込書の活用です。

+1や+44などから始まる国際電話番号による特殊詐欺が急増しています。

詐欺の電話がかかってくる件数が減れば、騙されてしまう可能性も減ります。

短時間かつ無料で実施できますので興味がある方がいらっしゃれば、ぜひ駐在所にお越しください。

2つ目は誰かに相談することです。

一人で考え込まず、家族、親戚、信頼できる知人、警察に相談してください。

急かされたり、誰にも相談しないように指示された際は要注意です。

一度払ってしまえば、被害回復は容易ではありませんので、まずは誰かに相談してみてください。

この地区から特殊詐欺被害をなくしましょう。



<編集後記>

この一年、行事や日々の取り組みを通して、地区のつながりや支え合いの大切さをあらためて感じております。地域の皆様一人ひとりのご協力に、心より感謝申し上げます。これからも、無理のない形で助け合い、安心して住みよい醍醐地区を皆さんと一緒につくっていただければ幸いです。

新年度においても、感染症等の防止に留意して今年度同様に各種事業を実施したいと考えておりますので、地区の皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

(地区社協 庶務担当 大泉)